

SUP インストラクター／ガイド1 指導者検定会報告書

報告者／主管 SUPIT

山口 浩也

教養課程 2018年12月10, 11日

受験者無し

基礎課程 2018年12月12, 13日

実技受験者／6名 合格者3名

指導受験者／1名 合格者0名

IT 研修／平井剛史 (サンデープランニング) 大野秀史 (しーかやっくうみうし) 中村昭彦 (一滴 paddle&mountain guide)

デモ／平井剛史 大野秀史 中村昭彦

公認スクール代表者2名、公認スクールパートスタッフ2名、SUP 事業者2名

所感

他種目のイントラ1と同等のレベルにそろえる必要があり、漕艇技術においてベーシック検定とはだいぶレベルの違いがあると思います。

いかにボードを動かすことにボディワークとパドリングが必要かを知ってもらえたと思います。

これは、SUP にはフォワード意外にパドリングがあるということをスタンダードにしていく第一歩と考えています。

受験生の中には簡単に考えていた方もいたようですが、全体に言えることはパドリングが出来ない為、体軸がぶれる。体軸がぶれるからパドリングが出来ない。多くの方がそのためボードバランスが崩れがちになりました。

2日目の指導では受験生1名にイントラ1保持者の見学5名でにぎやかになりました。

受験生の的確な指導と保持者たちの着目点は非常に良いものでありました。

講義以外の時間を使い、指導についてや安全面、フィールドの違いについても意見交換が出来たことは、参加者によいお土産が出来ました。

研修及びデモを上記3名にかかわってもらった結果を踏まえ、今後のSUP 検定を行っていく上でITが必要になってきますので別紙にてIT 推薦状を書きました。よろしくお願いたします。